

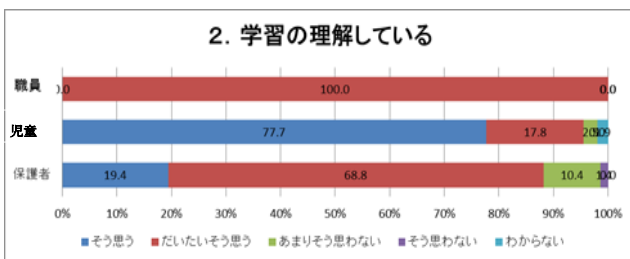
平成29年度 前期学校評価アンケートのまとめ

千曲市立更級小学校

平素より本校の教育にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。
 さて、1学期に実施させていただいた本年度前期の学校評価アンケートについて、まとめをいたしました。ご報告が大変遅くなりましたこととお詫び申し上げます。
 今回は、アンケート項目のうち、特に後半に向けてより一層指導に留意してきたい点について、ご報告いたします。ご覧いただき、ますますのご支援をよろしくお願いいたします。

1 学習の取組について

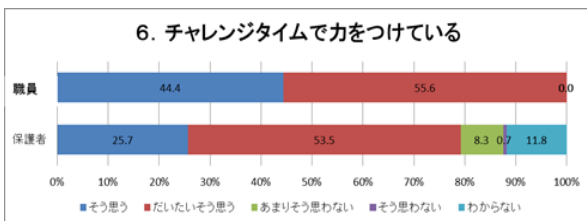
① 学習内容の理解について



職員、児童ともに95%以上が「理解している」と回答していますが、保護者の約11%が「理解が十分ではない」と答えています。昨年同時期よりも「十分でない」と答えた人数等は減ったものの、1割強の保護者が「授業を充実させ、子どもの理解を進めてほしい」との願っていることの表れであると考えます。

学校では、今後も全国学力・学習状況調査やNRT、単元テストなどの結果の分析、日頃の授業の姿から、児童一人一人の実態を的確につかんだ上で、きめの細かい支援や指導を重ねていくことで、授業改善を進め、各教科の基礎的・基本的な内容が確実に身につくように進めてまいります。

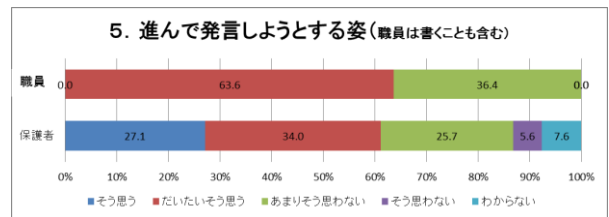
② 「学習のサイクル」について



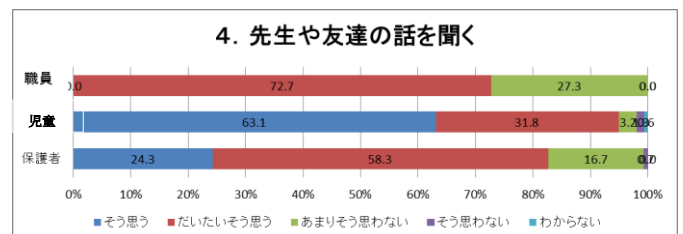
昨年度から、基礎的・基本的な学力の定着及び自発的な家庭学習を進めていくために、「授業・チャレンジタイム・家庭学習」を効果的に関連づけて学習を進める「学習のサイクル」を実施していますが、定着は不十分のように考えます。家庭と学校とで連携して、学力を高めていけることが重要であることから、家庭学習では、その日の学

習の復習を定着させることや基礎的な学習の確認などを中心に行っています。日頃のお子さんの状況を確認していただきながら、お子さんの学習理解が深まるよう、共に支えていただきますよう、ご協力をお願いします。

③ 進んで学習する姿について



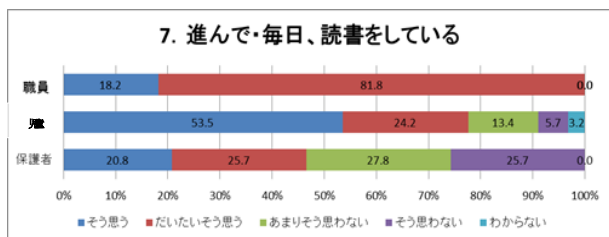
保護者から見て、進んで発言しようとする姿は、約60%、職員もほぼ同様に約64%です。(職員は、「書く」ことも含めての回答。)このことは、昨年からはほぼ同じ数値となっています。発言したり書いたりして、自分の意見を表現することにやや抵抗を持つ児童が各学級におります。授業の中で、自分の考えをまとめる時間を確保したり、ペアやグループ活動を位置づけたりして友達同士で考えを発表し、全体での話し合いに進めるなど、方法を工夫しています。さらに、児童が多様な考えや情報を求める課題を設定したり、追究する方法を考えたりするなど、意欲を喚起する指



導を進めていきたいと思えます。
 また、上のグラフのように、「聞く姿勢が不十分である」という評価が職員・保護者共に、1割

程度います。先生や友達の話を書く観点を明確にする、メモの取り方や聞き終わった時の確認等を丁寧に指導したり、姿勢を確認したりすることも大切にしていきたいと思ひます。

2 読書について



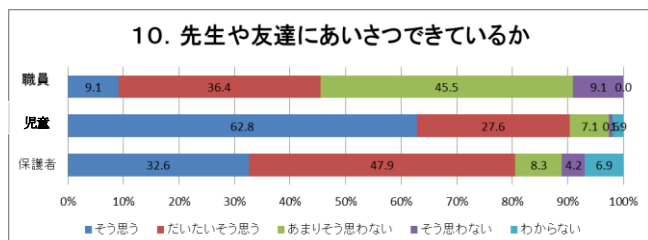
読書の取組みは、図書館利用をはじめ、今年度より始めた「親子読書デイ」活動もあり、図書の貸出冊数はかなり上昇しています。各学年とも、前年度比160～180%となっています。しかし、保護者の評価は昨年同様5割以下にとどまっています。児童の本を読む時間帯が、帰宅直後であったり、児童館での時間であったりすることから、保護者の皆さんに子どもたちが読書する姿を見ていただく機会が不足していることもあるかと存じます。各学級の家庭学習に、音読と併せて読書を課題としたり、読書の取組みを保護者に確認していただいたりするようにしたいと思ひます。

※ 参考資料 3年間の図書館の図書貸出数

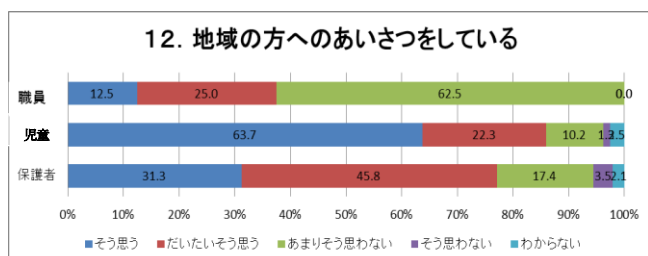
期間	全校児童の貸出冊数合計	児童一人あたりの貸出冊数
H29 4月～9月	16,277	97.1
H28 4月～9月	10,842	64.7
H27 4月～9月	13,050	76.2

3 あいさつについて

① 先生や友達へのあいさつ



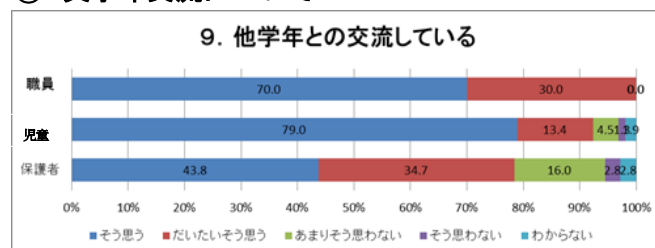
② 地域の方へのあいさつ



あいさつについては、児童90%、保護者80%が「できている」と答えていますが、職員は45%にとどまっています。これは、職員には経験をもとに他校の児童の姿などとの比較から、「更級小のあいさつは、まだ不十分である」と判断したためと考えます。朝の昇降口での児童同士のあいさつでも、自分から大きな声で相手に伝わるあいさつをする児童は限られています。地域の皆さんからも「個人差が大きい」とのお声を度々うかがいます。中学校では他校と一緒にになり、あいさつがよりよい仲間づくりを進める有効な方法でもあることから、子どもたちが、自ら気持ちのよいあいさつができるよう、働きかけていくことが必要と考えます。

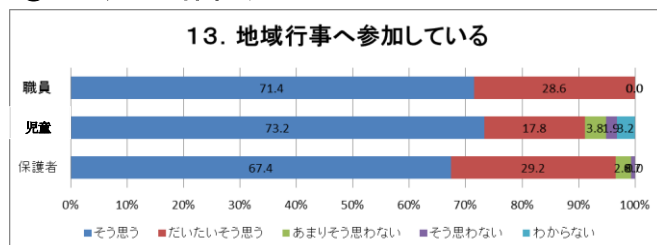
4 交流活動や地域参加について

① 異学年交流について



他学年との交流については、児童や職員では、90%以上が「取り組んでいる」認識がある中、保護者では80%未満となっています。学級内の限られた人間関係の中での活動に対して、学年を越えた活動の中から、下級生を思いやったり、自信を持って活動したりする力をつけていきます。昨年度より、一人一人の目標や役割を明確にした交流「縦割り活動」を実施していますので、成長している子どもたちの姿を、随時お伝えしていきたいと思ひます。

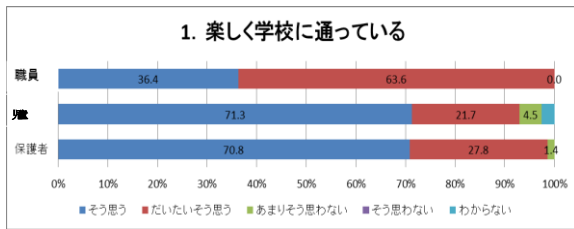
② 地域との係わり



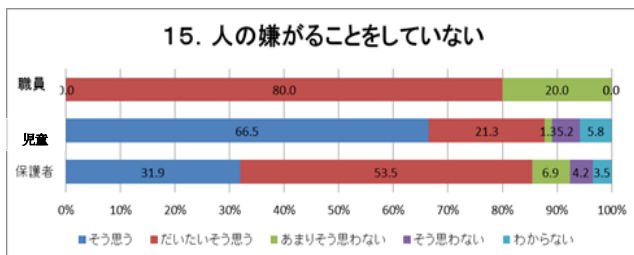
地域行事への参加については、児童・保護者・職員共にほぼ同様の評価になっています、更級地域は、子どもの健やかな成長のため、「更級コミュニティースクール」を基盤に、大変協力的に活動して下さっています。今後も無理のない程度に、地域に出て、様々な交流をして行きたいと考えます。ご家庭でも、出来るだけ地域行事にご参加いただければ幸いです。

5 人権意識について

① 「学校が楽しい」

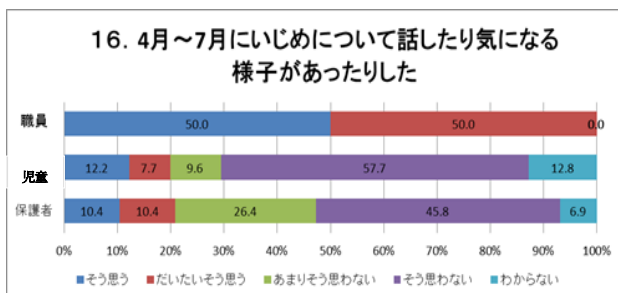


「学校が楽しい」と考える児童が94%を占めていますが、10名程度が「学校は楽しくない」と答えています。この事実を重く受け止め、私たち教職員は、一人一人の児童の心に寄り添い、悩みや不安を解決するため、具体的に支援して参ります。学習面では、みんなが「分かる授業」を心がけ、児童の「分かった喜び」を持続させ、次への意欲につなげていくよう取り組みます。生活面では、それぞれの発達段階を考慮しながら、毎日の生活をより充実感をもって過ごせるよう、学級経営に努めていきたいと思えます。ご家庭でも気になること等ありましたら、ご連絡をお願いします。



② 友達とのかかわり方

子どもたちが、生活の中で「人の嫌がることをしているかどうか」という問いについては、子ども自身や保護者、職員ともに「している」「そのような姿があった」と受け止めています。「いやがる行為」を受けた立場に立っての受け止めが育っていないことが大きな要因と考えます。この実態は、より具体的に尋ねた「4月～7月までの間に、いじめについて話したり気になる様子があったりした」との問いでの答えと重なっています。



私たち教職員は、様々な場面で、児童の実態を

捉え、心に届くよう指導をしておりますが、指導が個別の対応に止まっていたり、学級全体の問題としての指導が不足していたりしたため、児童や保護者との意識の違いにつながっていることが考えられます。私たち職員をはじめ周囲の大人達が、「いじめは絶対に許さない」姿勢を常に示していくことは当然ですが、個別の指導と合わせて、学級の子どもたちの実態として、懇談会やお便りなどを通じて、情報を共有し、家庭と共に連携して考えていくことが重要です。さらに、普段から「いじめを許さない」意識づくり、起こった場合の早期発見、早期対応が大切と考えます。ご協力をお願い致します。

6 保護者の皆さんからのご意見

- ・運動会で「信濃の国」を子どもと一緒に踊るといのはとてもよかったです。
- ・低学年でも児童が一生懸命応援していた姿が素敵でした。学校全体が仲がよいのだと思いました。
- ・友達との関わり方が一年一年成長を感じました。協力しあえる姿が見られてよかったです。
- ・発言しようとする意識が見られた。
- ・他学年の子の名前もよく知っていることから、他学年での交流があると思え、いいことだなと思います。
- ・遊びに来る子の中に、挨拶ができない子がいます。
- ・自転車に乗っている子どもたちが、一時停止をせずに道を曲がっていく姿を見て、ひやっとしました。自宅でも注意していきたいです。
- ・子ども同士の言葉づかい、近所の人との挨拶が気になります。昔は挨拶運動がありました。今はいろいろな事件もあるせいか、なくなっているのでしょうか。子どもが住みやすい安全な環境であることを望みます。校庭の遊具も安心して遊べるものが増えるといいです。

保護者の皆様からいただいたアンケート、ご意見をまとめました。ここにはすべてのアンケート結果をご報告しておりませんが、その他の内容に付いても、これからの指導に生かして参ります。

なお、アンケート実施後、改善点の対応は、速やかに行って参ります。また、授業改善、読書、あいさつ等については、職員間で情報共有をし、効果的な指導のあり方を検討しながら取り組んでおります。(4ページ参照)

1年間の成果を見るために、年度末にもう一度アンケートをとらせていただきます。

ご協力をお願いいたします。